



第 33 回通常総代会

～要約版資料～



さつま日置農業協同組合

I. 組合員のみなさまへ

組合員の皆さまには、日頃よりＪＡ運営への深いご理解と格別のご支援・ご協力を賜り、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、令和６年度は、生産資材価格の高止まりや気候変動等による自然災害の多発化、食料自給率の低迷と農業者の急減などにより、農業や地域社会を取り巻く環境も一段と厳しさを増しました。

農業面では、国際情勢の影響に伴うエネルギーや肥料・飼料等の生産資材価格高騰に加え、枝肉価格や子牛市況の低迷など農業経営は厳しさを増しました。そのような中、「食料・農業・農村基本法」が改正され、食料安全保障を軸とした農業生産性の向上、食料システムの確立、農村における地域社会の維持が求められました。今後は、改正法や関連法の動向に注視しながら、引き続き農家組合員への支援対策に取り組む必要があります。

このような中、中期３ヵ年計画の最終年度として３つの基本方針である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の達成に向けた事業を展開し、産地基盤の強化を図りつつ、事業利益の維持確保を目指し、安定した経営の継続に努めて参りました。

また、自己改革の取り組みとして、早期水稻の資材価格対策並びに荒茶生産に伴う労力軽減対策の一環として機材の対応等に努めました。

令和７年度につきましては、昨年１１月のＪＡ鹿児島県大会で決議された基本目標をもとに作成した、新たな中期３ヵ年（令和７～９年度）計画の初年度として、産地の維持・拡大や組合員・地域の皆さまのニーズに応える事業を展開し、さらなる経済事業改革などに取り組み収益力強化に努め、組合員の持続可能な農業経営に貢献できるよう努めて参ります。

また、世界の目標とされるＳＤＧｓの達成にも貢献できるよう、農業や暮らしを守る事業・活動に取り組んで参ります。

さらに、日本の食料安全保障に向け、県選出国會議員の先生方と連携し、食料・農業・地域の発展に向け取り組みをすすめて参ります。

これからも、地域・組合員のみなさまの身近なＪＡであるため、「ふれあい活動」を展開し、役職員一丸となって組合員・地域の方々の期待に応えられるＪＡを目指して参ります。

組合員の皆さまの更なるご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご繁栄を心よりご祈念申し上げます。

さつま日置農業協同組合
代表理事組合長 能勢 新市



第33回通常総代会

提出議案名一覧

第1号議案 令和6年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

第2号議案 中期3ヵ年計画の決定について

第3号議案 令和7年度事業計画及び関連事項の決定について
〔付帯決議〕

第4号議案 理事の報酬について

第5号議案 監事の報酬について

第6号議案 定款の一部変更について
〔付帯決議〕

第7号議案 定款附属書総代選挙規程の一部変更について
〔付帯決議〕

表紙写真

- | | |
|---------|-----------------------|
| (上段左上) | 令和6年度新採用職員入組式 |
| (上段中上) | 小学校卒業生にソリダゴコサージュ |
| (上段右上) | J A なす部会出荷協議会 |
| (上段左下) | ハウスみかん鉢入れ式 |
| (上段右下) | 小学校田植え体験 |
| (下段左上) | 5年ぶりに開催した女性部会お月見コンサート |
| (下段右上) | J A 青年部会農産物寄贈 |
| (下段左下) | 金峰コシヒカリ県知事贈呈 |
| (下段左下中) | 食農教育野菜苗植え |
| (下段右下中) | アグリカップ小学生サッカー大会 |
| (下段右下) | 鹿児島中央地区秋季畜産共進会 |

※本資料に掲載している計数は、原則として単位未満を四捨五入で表示しておりますので、合計と一致しない場合がございます。

I.第33回通常総代会への提出議案の概要

第1号議案 令和6年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

(1)令和6年度の主な活動報告

基本目標	5つの柱	実施具体策
農業者の所得増大	農業づくり	・「JA産地づくり10年ビジョン」に基づく産地振興の取り組み ・直販取引・契約取引等の拡大による有利販売 ・肥料・農薬推奨品目・大型規格品目の普及による農家の資材コスト低減 ・地域活性化につながる「地産地消」と「安心・安全」な食の提供 ・畜産生産基盤の維持強化と商品性の向上 ・関係機関との連携による畜産防疫体制の強化
農業生産の拡大	くらしづくり	・農業者への訪問活動による適切な資金の提案 ・組合員の長期安定的な資産運用の提案 ・共済保障普及基盤の維持・拡大に向けた積極的な活動の展開 ・若年層との接点づくりへの取り組み強化 ・地域・組合員の健康管理支援（人間ドック・巡回健診）の実施
	ファンづくり	・ふれあいイベントや食農教育活動の実施 ・広報誌等による地域農業やJAに関する情報の発信
地域の活性化	ひとづくり	・JAと青年部会・女性部会一体となった地域活性化につながる活動の展開 ・協同活動ができる職員、将来を担う考動力ある職員の育成
	JAづくり	・組織基盤の強化に向けた組合員加入促進・増資運動の実施 ・組織改革に向けた各種プロジェクトの実施

(2)各部門の取り組み実績

営農部門

園芸農産事業

「JA産地づくり10年ビジョン」の実践を通して、重点品目のさつま日置ブランドの確立、地域農業の振興を図りました。

また、営農経済収益力強化対策の実践により、集荷・出荷体制の合理化・市場との連携を含めた販売力の強化と品目専任体制による営農指導の充実に努め、「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」を目指した地域農業の振興を図り、持続可能な農業生産を進めました。

主な取り組み

組合員のニーズに応じた営農指導販売体制の整備

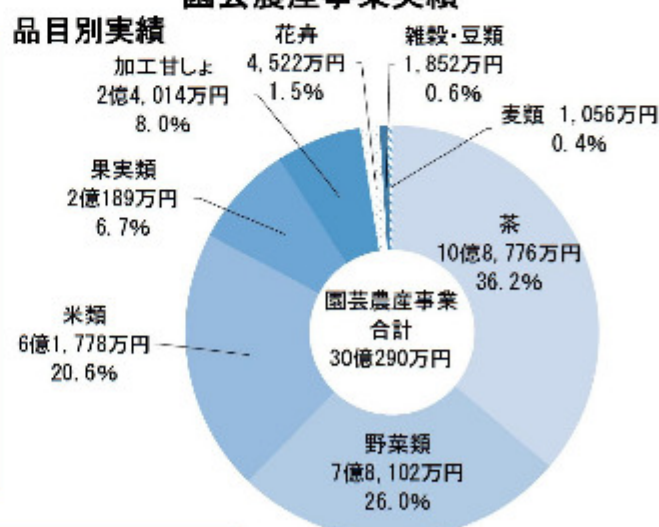
・営農指導販売部門の連携による体制の強化

農家所得の拡大を目指した取り組み強化

・「JA産地づくり10年ビジョン」に基づく産地振興の取り組み

・基幹作物農家の経営安定化

園芸農産事業実績



早期米収穫

営農部門

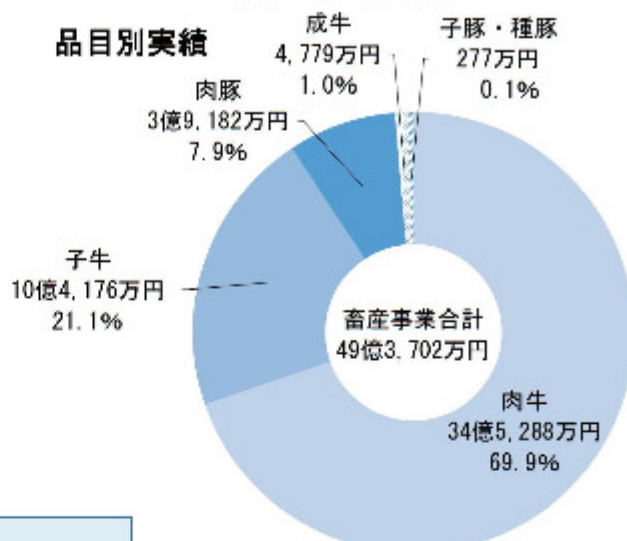
畜産事業

畜産情勢は飼料・資材等の高止まりによる生産コスト高に加え、物価高の影響から牛肉消費の落ち込みによる肉牛・子牛価格の低迷から、畜産経営は厳しい状況となりました。このような中、関係機関と一体となり生産基盤の維持強化への取り組みを行い、農家経営安定に努めました。

主な取り組み

- ・畜産生産基盤の維持と商品性向上
- ・ICT(農業通信機器)の取り組みによる生産性向上
- ・JA産地づくり10年ビジョンによる畜産振興
- ・農家所得向上による経営安定
- ・畜産農家への専門指導による農家経営指導の強化
- ・畜産防疫体制の強化

畜産事業実績



県畜産共進会

営農部門

生産資材事業

営農・畜産部門と連携強化をすすめ、出向く体制・指導購買の機能強化を図り、適時的確な生産資材の供給や予約購買の拡充により低コスト資材の供給に努めました。また、購買品の供給体制整備を行い、サービス・利便性向上を目指しました。

生産資材価格の高止まりに対して、行政等関係機関と一体となり生産農家のコスト上昇抑制に取り組みました。

主な取り組み

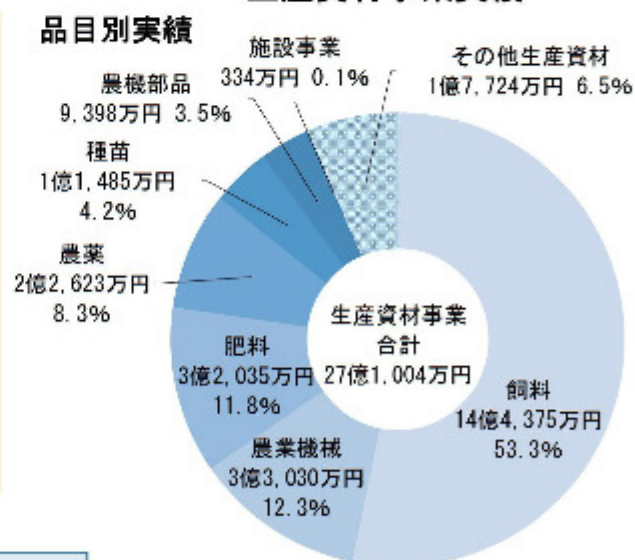
生産資材事業

- ・生産コスト低減及び生産性向上対策への取り組み
- ・部会組織の予約率向上の強化

農業機械事業

- ・生産コスト低減化の取り組みと推進体制の強化
- ・組織体制整備による事業運営の効率化

生産資材事業実績



粗飼料集合販売

生活部門

消費者の「食の安心・安全」への意識に応えるため、新鮮な管内農畜産物の積極的なPRにより、「地産地消」に取り組みました。

また、健康増進・ふれあい活動等を通じて、地域・組合員の豊かなくらしづくりと地域の活性化に努めました。

主な取り組み

生活資材事業

・地域活性化につながる「地産地消」「安心安全」な食の提供・豊かな暮らしづくりの提案

高齢者福祉事業

・人間ドック・巡回健診、宅配給食等による健康管理支援

SS事業

・仕入れコスト削減等による自動車用・営農用燃料の適正な販売価格の取り組み

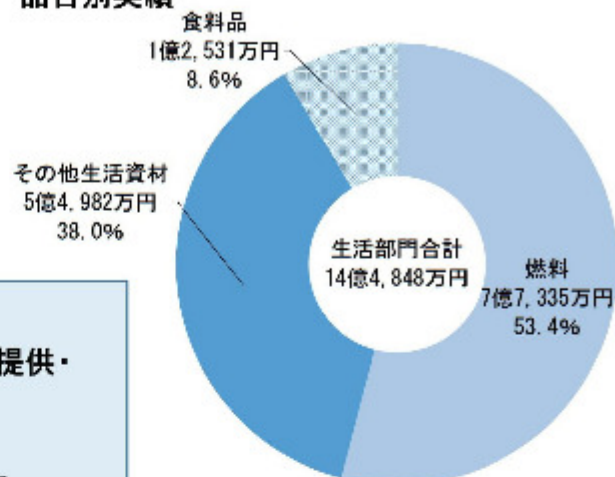
ガス事業

・安全無線化システムの普及や安心・安全なエネルギー供給

葬祭事業

・利用者ニーズや利便性に配慮した施設整備

品目別実績



市場美化コンクール

金融部門

農業者への細やかな金融サービスの提供に向け、農業融資専任による農業経営と生活のサポートを行いました。

また、地域から信頼され、選ばれる金融機関を目指し、貯金をはじめ振込・口座振替、ネットバンク、専門員による投資信託の提案など、総合金融サービスの提供を図りました。



農業資金相談会の開催

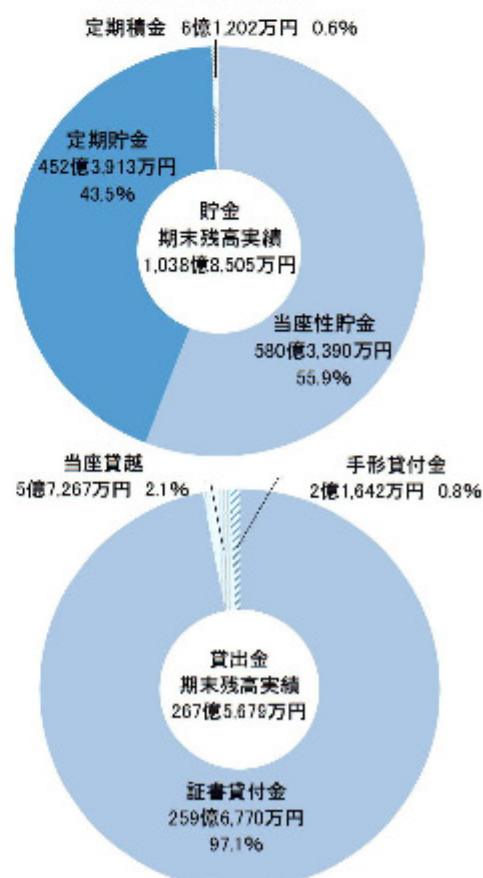


年金友の会グラウンドゴルフ大会の開催

主な取り組み

- ・担い手資金への対応力強化
- ・組合員・利用者の豊かなくらしの実現およびライフイベントに即した提案型推進
- ・信用事業を担う人材の育成

金融部門実績



共済部門

組合員・利用者に「寄り添い」、安心を「届け」、農業や地域社会とより広く・より深く「繋がる」を实践するため、より一層、組合員・利用者本位の取り組みを实践し、一人ひとりに寄り添った安心と満足の提供に取り組みました。

共済部門実績

共済金の支払実績

共済種類	支払実績	
	件数	金額
生命共済 こども共済 終身共済	2,482	8億3,632万円
年金共済 (死亡、入院)	15	1,466万円
建物更生共済	1,619	6億5,189万円
短期共済 (自動車、火災等)	1,753	5億5,735万円
長期共済	3,740	19億4,025万円
年金共済	2,065	7億7,006万円
合計	11,674	47億7,053万円

※建物更生共済の支払件数のうち
台風10号による支払件数は1,410件



若年層と繋がるイベントの開催



農業祭での共済に関する相談会

主な取り組み

- ・共済事業の長期安定的な展開
- ・若年層との接点強化
- ・長期にわたり契約者が安心できる土台、スキームづくり

経営管理部門

組合員との対話を通じた自己改革の实践や各組合員組織と連携した活動の实践など、組合員と一体となった事業運営に取り組みました。
また、組織・財務基盤の強化を図るため、JA事業や協同活動への理解を求めながら、組合員加入運動や増資運動に積極的に取り組みました。



女性部会とJA役職員との語る会



青年部会とJA役職員との語る会

主な取り組み

- ・組織機能・財務基盤の強化
- ・人材の育成
- ・JA経営基盤の強化と組織改革への取り組み
- ・JAと地域が繋がる活動の強化
- ・営農支援につながる農政活動
- ・コンプライアンス態勢(法令等遵守態勢)の強化
- ・マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策の強化
- ・「内部管理体制にかかる指導基準」に基づく業務監査の取り組み

主な経営基盤強化対策

テーマ	主な内容
収益力強化・体制の合理化	(1) 営農経済事業の収益力強化対策の实践および収支改善対策の検討 (2) 事業管理費圧縮対策 (3) 融資体制の強化による利益確保 (4) 新たな仕組みを活用した共済商品提供及び共済契約者対応力の強化

Ⅱ.組合組織の状況(令和7年2月末時点)

1. 組合員・総代・運営委員数

(単位:人)

地区名	組合員			総 代	運営委員
	正	准	計		
串木野	825	1,702	2,527	57	52
市 来	541	538	1,079	35	42
東市来	697	1,090	1,787	52	43
伊集院	1,129	1,738	2,867	68	59
松 元	590	909	1,499	36	51
郡 山	809	541	1,350	51	44
日 吉	609	552	1,161	51	75
吹 上	692	867	1,559	70	54
金 峰	918	595	1,513	80	67
合 計	6,810	8,562	15,342	500	487

2. 出資口数

	R6
出資口総数	2,259,810口
1正組合員あたりの出資金額	181,917円

3. 役 員

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
代表理事組合長	能勢 新市	理 事	保倉 昭吾	代表監事	西元 康弘
代表理事常務	吉富 竜樹	〃	藤田 秋弘	常勤監事	宮菌 道春
代表理事常務	比良 義博	〃	園田 好済	監 事	二俣 勝則
理 事	満尾 修一	〃	尾堂 武志	〃	坂野 光彦
〃	久木山 純広	〃	潟山 砂由美	〃	濱村 義美
〃	東峯 満	〃	鉾之原 法子	員外監事	稲葉 幹男
〃	栢 和美	〃	東 良子		

4. 職員数

(単位:人)

	R6
正職員	200
常備的臨時雇用者	61
総職員数	261

当JAイメージキャラクター『ヒオッキー』

性格…『元気100%』
 誕生日…3月21日(太陽の日)
 好きなもの…「太陽」「地元の農畜産物」
 「相棒の薩丸(さつまる)くん」
 嫌いなもの…田・畑を荒らす「台風」や「害虫軍団」
 お仕事…「JAと一緒に日置農業を守り、PRすること。」
 空もスイスイ移動できるJAボードで、素早く駆けつけて、
 台風や害虫軍団から農畜産物を守ります。



ヒオッキー

令和6年度(令和7年2月28日現在)貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	金 額	負債の部	金 額
1. 信用事業資産	101, 018, 943	1. 信用事業負債	104, 078, 689
2. 共済事業資産	525	2. 共済事業負債	273, 212
3. 経済事業資産	3, 372, 366	3. 経済事業負債	515, 885
4. 雑資産	512, 467	4. 雑負債	345, 006
5. 固定資産	2, 749, 260	5. 諸引当金	309, 473
6. 外部出資	3, 209, 646	6. 再評価に係る繰延税金負債	374, 401
7. 繰延税金資産	106, 932	負債の部 合計	105, 896, 666
		純資産の部	金 額
		1. 組合員資本	4, 419, 740
		2. 土地再評価差額金	653, 733
		純資産の部合計	5, 073, 473
資産の部 合計	110, 970, 139	負債及び純資産の部 合計	110, 970, 139

令和6年度(令和7年2月28日現在)損益計算書

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	1, 676, 011	3. 事業外収益	66, 055
信用事業総利益	630, 065	4. 事業外費用	18, 169
共済事業総利益	491, 710	経常利益	70, 015
購買事業総利益	329, 194	5. 特別利益	24, 193
販売事業総利益	129, 564	6. 特別損失	67, 142
加工事業総損失	16, 170	税引前当期利益	27, 066
利用事業総利益	184, 101	法人税等合計	12, 170
その他事業総損失	40, 659	当期剰余金	14, 896
指導事業収支差額	△31, 794	当期首繰越剰余金	15, 004
2. 事業管理費	1, 653, 882	土地再評価差額金取崩額	25, 135
事業利益	22, 129	当期末処分剰余金	55, 035

剰余金処分(案)について

(単位:円)

項 目	金 額
未処分剰余金	55, 034, 440
利益準備金	19, 000, 000
任意積立金(経営基盤強化積立金)	4, 000, 000
〃 (職員厚生教育積立金)	4, 000, 000
出資配当金(1. 0%)	21, 294, 735
次期繰越剰余金	6, 739, 705

【監査報告】

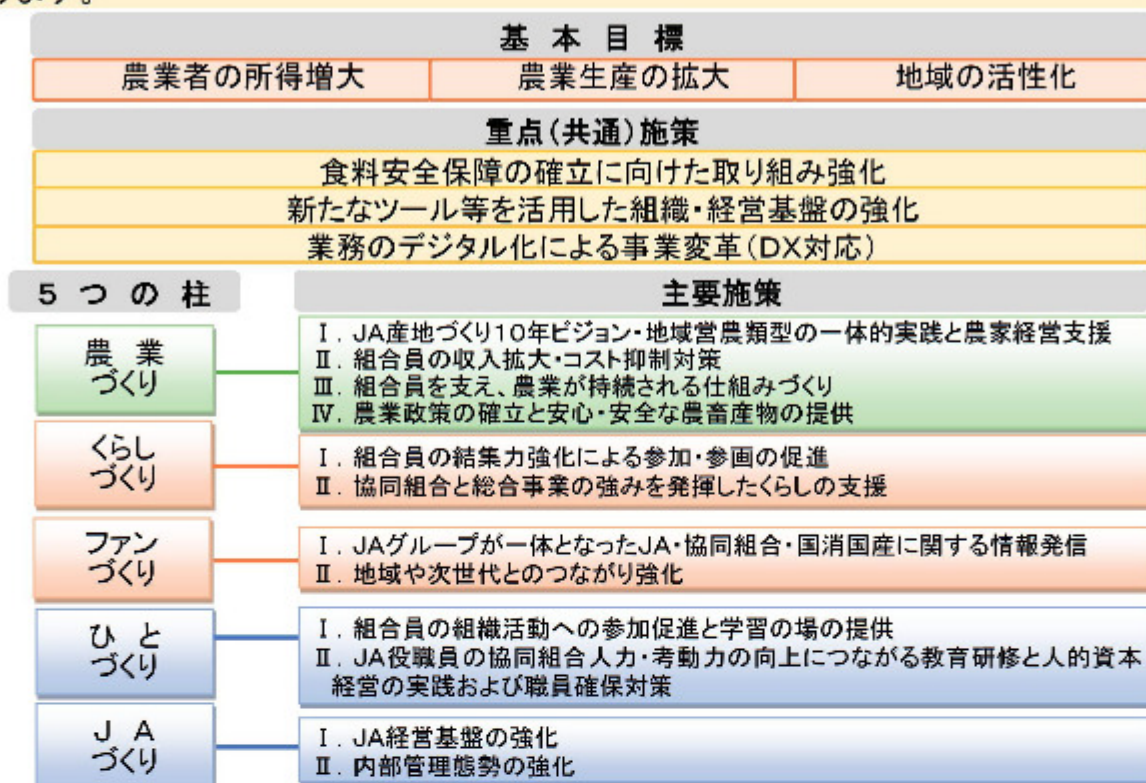
当JAは、理事の職務執行について、監事による監査を受けております。

また、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分については、会計監査人(みのり監査法人)の監査を受け、適正意見を頂いています。

第2号議案 中期3カ年計画の決定について

(1) 中期3カ年計画について

「3つの基本目標」「5つの柱」に沿った施策を設定し、中期3カ年計画を実践してまいります。



(2) 総合損益計画

(単位:千円)

	令和6年度実績	令和7年度計画	令和8年度計画	令和9年度計画
信用事業 総利益	630,065	626,824	640,000	652,000
共済事業 総利益	491,710	490,332	479,901	469,684
購買事業 総利益	329,194	330,255	333,595	336,968
販売事業 総利益	129,564	123,238	123,817	124,403
加工事業 総利益	△ 16,170	2,636	2,654	2,673
利用事業 総利益	184,101	187,107	186,761	188,396
特別事業 総利益	△ 40,659	12,567	12,714	13,005
指導事業 総利益	△ 31,794	△ 35,223	△ 35,481	△ 35,740
事業総利益	1,676,011	1,737,736	1,743,961	1,751,389
事業管理費	1,653,882	1,688,153	1,693,217	1,693,217
事業利益	22,129	49,583	50,744	58,172
事業外損益	47,886	39,253	39,253	39,253
特別損益	△ 42,949	0	0	0
税引前当期利益	27,066	88,836	89,997	97,425
法人税、住民税及び事業税	24,736	23,736	25,197	27,225
法人税等調整額	△ 12,566	0	0	0
当期剰余金	14,896	65,100	64,800	70,200

第3号議案 令和7年度事業計画及び関連事項の決定について

(1) 令和7年度の主な活動計画

5つの柱	主な実施具体策
農 業 づくり	・「JA産地づくり10年ビジョン」に基づく産地振興の取り組み ・直販取引・契約取引の拡大による有利販売 ・低コスト推奨品目や大型規格品目の普及による農家の資材コスト低減 ・「安心・安全」な管内農畜産物の消費拡大による食の提供 ・畜産生産基盤の維持強化と商品性の向上 ・農家経営改善対策の継続的な実施
くらし づくり	・農家の生産コスト低減につながる燃料の供給 ・農業者への訪問活動による適切な資金の提案 ・組合員の長期安定的な資産運用の提案 ・若年層との接点づくりへの取り組み強化 ・地域・組合員の健康管理支援(人間ドック・巡回健診)の実施
ファン づくり	・ふれあいイベントや食農教育活動の実施 ・広報誌等による地域農業やJA・国消国産に関する情報の発信
ひ と づくり	・JAと青年部会・女性部会一体となった地域活性化につながる活動の展開 ・協同活動ができる職員、将来を担う考動力ある職員の育成
J A づくり	・経営基盤の強化と組織改革への取り組み ・組織基盤の強化に向けた組合員加入促進運動の実施 ・マネロン・テロ資金供与対策の強化

(2) 各部門の取り組み計画

部 門		計 画	前年比	主な内容
営農部門	園芸 農産	32億8,774万円	109.5%	茶11.1億円、野菜類8.7億円、米類7.3億円 加工甘しょ2.5億円、果実類2.3億円など
	畜産	51億2,320万円	103.8%	肉牛36.3億円、子牛11.3億円、肉豚3.5億円 成牛0.2億円 など
	生産 資材	25億8,988万円	95.1%	肥料3.2億円、飼料14.3億円、農薬2.3億円 種苗1.1億円、農業機械2.4億円 など
生活部門	生活	14億9,132万円	101.4%	燃料7.6億円、その他6.1億円、食料品1.2億円
金融部門	貯金	1,049億29万円	101.0%	当座性貯金591.7億円、定期貯金451.4億円 定期積金6.0億円
	貸出金	301億6,782万円	112.7%	証書貸付金291.5億円、手形貸出金3.0億円 当座貸越7.2億円 など
共済部門	長期 共済	2,341億9,449万円	97.1%	金額は期末保有高

(3)総合財務計画(予定貸借対照表)

(単位:千円)

資産の部	金 額	負債の部	金 額
1. 信用事業資産	102, 083, 669	1. 信用事業負債	105, 095, 402
2. 共済事業資産	525	2. 共済事業負債	265, 212
3. 経済事業資産	3, 486, 418	3. 経済事業負債	517, 885
4. 雑資産	499, 413	4. 雑負債	342, 384
5. 固定資産	2, 765, 313	5. 諸引当金	342, 354
6. 外部出資	3, 209, 646	6. 再評価に係る繰延税金負債	374, 401
7. 繰延税金資産	106, 932	負債の部 合計	106, 937, 638
		純資産の部	金 額
		1. 組合員資本	4, 560, 545
		2. 土地再評価差額金	653, 733
		純資産の部 合計	5, 214, 278
資産の部 合計	112, 151, 916	負債及び純資産の部 合計	112, 151, 916

(4)総合損益計画

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	1, 737, 736	3. 事業外収益	41, 768
信用事業総利益	626, 824	4. 事業外費用	2, 515
共済事業総利益	490, 332	経常利益	88, 836
購買事業総利益	330, 255	5. 特別利益	0
販売事業総利益	123, 238	6. 特別損失	0
加工事業総利益	2, 636	税引前当期利益	88, 836
利用事業総利益	187, 107	法人税等合計	23, 736
その他事業総利益	12, 567	当期剰余金	65, 100
指導事業収支差額	△35, 223	当期首繰越剰余金	6, 740
2. 事業管理費	1, 688, 153	土地再評価差額金取崩額	0
事業利益	49, 583	当期未処分剰余金	71, 840

第4号議案 理事の報酬について

第5号議案 監事の報酬について

役職名	人 数	R7年度 報酬額
理 事	14名	総額 36, 560千円
監 事	6名	総額 13, 983千円

第6号議案 定款の一部変更について

(変更理由)

営農経済部門等の組織再編等に伴い、事業での利用は継続するものの従たる事務所に該当しなくなる事務所について、当組合の定款の一部を変更するものです。

【新 旧 対 照 表】

変更後	現 行
第1章 総則 (事務所) 第4条 この組合の主たる事務所は、鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1810 番地に置き、従たる事務所は、次の場所に置く。 鹿児島県いちき串木野市東塩田町 233 番地 " " 大里 5666 番地 (削 除) " 日置市東市来町長里 33 番地 " " 伊集院町徳重2丁目5番地1 (削 除) " 鹿児島市石谷町 1920 番地3 " " 郡山町6番地1 鹿児島県日置市日吉町日置 3430 番地1 (削 除) " " 吹上町中原 2763 番地1 " 南さつま市金峰町尾下 422 番地 (削 除)	第1章 総則 (事務所) 第4条 この組合の主たる事務所は、鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1810 番地に置き、従たる事務所は、次の場所に置く。 鹿児島県いちき串木野市東塩田町 233 番地 " " 大里 5666 番地 " " 大里 894 番地 " 日置市東市来町長里 33 番地 " " 伊集院町徳重2丁目5番地1 " " " 下谷口 5003 番地 " 鹿児島市石谷町 1920 番地3 " " 郡山町6番地1 鹿児島県日置市日吉町日置 3430 番地1 " " " 吉利 851 番地 " " 吹上町中原 2763 番地1 " 南さつま市金峰町尾下 422 番地 " " " 尾下 968 番地

第7号議案 定款附属書総代選挙規程の一部変更について

(変更理由)

正組合員数に合わせた総代定数に見直すため、当組合の定款附属書総代選挙規程の一部を変更するものです。

【新 旧 対 照 表】

変更後	現 行																																												
別表 選挙区別の総代定数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>選挙区域</th><th>定数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>串木野区域</td><td>61</td></tr> <tr><td>市来区域</td><td>40</td></tr> <tr><td>東市来区域</td><td>51</td></tr> <tr><td>伊集院区域</td><td>83</td></tr> <tr><td>松元区域</td><td>43</td></tr> <tr><td>郡山区域</td><td>59</td></tr> <tr><td>日吉区域</td><td>45</td></tr> <tr><td>吹上区域</td><td>51</td></tr> <tr><td>金峰区域</td><td>67</td></tr> <tr><td>合計</td><td>500</td></tr> </tbody> </table>	選挙区域	定数	串木野区域	61	市来区域	40	東市来区域	51	伊集院区域	83	松元区域	43	郡山区域	59	日吉区域	45	吹上区域	51	金峰区域	67	合計	500	別表 選挙区別の総代定数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>選挙区域</th><th>定数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>串木野区域</td><td>57</td></tr> <tr><td>市来区域</td><td>35</td></tr> <tr><td>東市来区域</td><td>52</td></tr> <tr><td>伊集院区域</td><td>68</td></tr> <tr><td>松元区域</td><td>36</td></tr> <tr><td>郡山区域</td><td>51</td></tr> <tr><td>日吉区域</td><td>51</td></tr> <tr><td>吹上区域</td><td>70</td></tr> <tr><td>金峰区域</td><td>80</td></tr> <tr><td>合計</td><td>500</td></tr> </tbody> </table>	選挙区域	定数	串木野区域	57	市来区域	35	東市来区域	52	伊集院区域	68	松元区域	36	郡山区域	51	日吉区域	51	吹上区域	70	金峰区域	80	合計	500
選挙区域	定数																																												
串木野区域	61																																												
市来区域	40																																												
東市来区域	51																																												
伊集院区域	83																																												
松元区域	43																																												
郡山区域	59																																												
日吉区域	45																																												
吹上区域	51																																												
金峰区域	67																																												
合計	500																																												
選挙区域	定数																																												
串木野区域	57																																												
市来区域	35																																												
東市来区域	52																																												
伊集院区域	68																																												
松元区域	36																																												
郡山区域	51																																												
日吉区域	51																																												
吹上区域	70																																												
金峰区域	80																																												
合計	500																																												

附則 別表については、次期総代改選から適用する。

「自己改革の取り組み」について(自己改革取組宣言)

JAの監督機関である農水省が定める監督指針を踏まえ、当JAは、これまで組合員との対話に基づいて「農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に取り組んできました。

令和7年度以降も「地域に求められるJA」であり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組めます。

令和7年度以降の自己改革の取り組み

<重点目標>

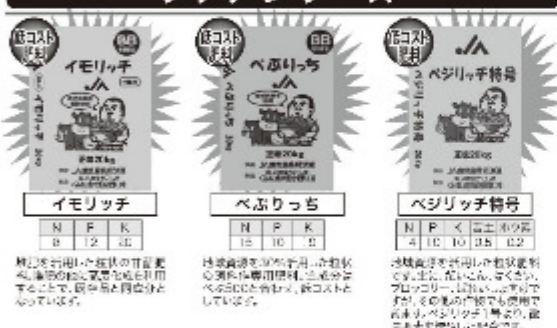
(1) 農業者の所得増大・農業生産の拡大

① 地域資源活用低コスト肥料リッチシリーズ普及によるコスト低減

対象者	所得増大効果	取扱数量	R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標
農家 組合員	1袋あたり(慣行肥料との 価格差△9%～△3.8%)		13,000袋	15,000袋	17,000袋

新規

リッチシリーズ



補足:リッチシリーズとは、肥料原料の高騰に対応し、
地域資源である堆肥を活用した低コスト肥料です。

※左記以外の商品も取り揃えております。
詳しくはお近くの購買店舗へお尋ねください。

② 荒茶のフレコン出荷による資材コスト・労力の軽減対策

対象者	所得増大効果	取扱数量	R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標
茶大型 農家	資材コスト・労力軽減、 作業効率向上		130トン	140トン	150トン

継続

③ 茶の有機栽培面積の拡大

対象者	所得増大効果	栽培面積	R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標
茶 農家	有機栽培面積の拡大及び有機 JAS取得による有利販売		36ha	40ha	50ha

新規

④ 果実のふるさと納税等を活用した取引の拡大

対象者	所得増大効果	取扱個数	R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標
果樹 部会員	高付加価値化による 販売高増加		2,300個	2,350個	2,400個

継続

⑤ 子牛出荷日齢の短縮

対象者	所得増大効果	子牛 出荷 日齢	R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標
畜産 部会員	子牛出荷日齢短縮に よる経費削減		274日	272日	270日

継続

⑥ 肥育牛の枝肉重量・上物率の確保

対象者	所得増大効果	枝肉 重量	R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標
畜産 部会員	枝肉重量の増加に よる販売高増加		480kg	490kg	500kg

継続

⑦ 農業振興の応援団(准組合員)の増加対策

対象者	R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標
准組合員	250人	260人	270人

継続

(2) 経営基盤の確立・強化

① 経営基盤強化対策の推進

R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標	
①営農経済部門を中心とした対象事業の収支改善対策の実践	①営農経済部門を中心とした対象事業の収支改善対策の実践	①営農経済部門を中心とした対象事業の収支改善対策の実践	新規 継続
②融資体制の強化による利益確保 (農業融資獲得件数・80件)	②融資体制の強化による利益確保 (農業融資獲得件数・80件)	②融資体制の強化による利益確保 (農業融資獲得件数・80件)	
③保障提供力強化による新規共済契約の確保	③保障提供力強化による新規共済契約の確保	③保障提供力強化による新規共済契約の確保	

(3) 組合員の意思反映

① 組合員との対話

対象者		R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標
組合員集会 (正・准組合員参加)	参加人数	700人	700人	700人
組合員との意見交換 (部会等)	回数	40回	42回	45回

継続



組合員集会

(4) その他の取り組み

① 農政活動

現場の声を議員を通じて国政へ

・農業を熟知されている森山裕議員（衆）や野村哲郎議員、藤木しんや議員（参）を通じ、各種対策を要請してきました。



市長との農政協議会

・当JA管内の4市の市長または農政担当部長と、農業の課題解決に向けた連携を図るための協議会を開催しています。



◀ 各市長と地域農業のために連携

② 食農教育

食と農の大切さを次世代へ

・JA営農・生活指導員が小学校や幼稚園に出向き、農産物の育て方・食べ方・知識について授業等を実施しています。

JAの営農指導員が小学校など、甘しょや、野菜の育て方について出前授業



次代を担う農業者への支援

・農業者の担い手育成に取り組んでいる農業学校への支援活動を実施しています。



◀ 管内農業高校へ乗用草刈機を贈呈

管内農業大学が行う講義にJA営農指導員が講師を務める



③ 組合員との地域貢献活動

地域貢献を若い力と女性の力で

・青年部会・女性部会と連携し、管内農産物のPRや国産品産への理解促進、豊かなくらしづくりに取り組みました。



◀ 児童施設のこどもたちへ青年部員が育てた農産物を寄贈

20年以上続く「高齢者にやさしい声かけ訪問」活動
女性部員が手作りの「ふくれ菓子」「手紙」を訪問して手渡しする活動



④ 地域ふれあい活動

地域に愛されるJAであるために

・地域行事への参加や小学生スポーツ大会等を通じ、地域の活性化に向けて取り組みをすすめました。



◀ JA主催でソフトボールやバレーボール、サッカーの小学生大会を開催

JA職員による歌の披露で祭りを盛り上げる

